

新アシバツナギS

鉄骨造の新築工事向け耐力を備え、作業性に優れ省力化が図れます。

仮設足場接続金具(壁つなぎ 雄ネジW1/2-12控え金具)

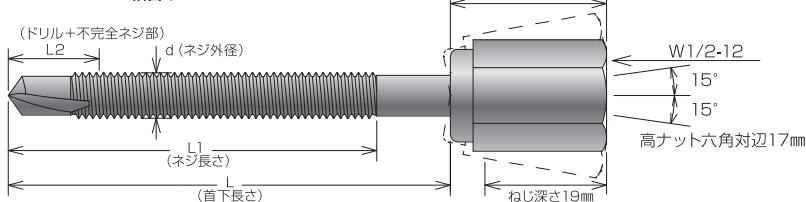
特許第2764232号

ナット可動式

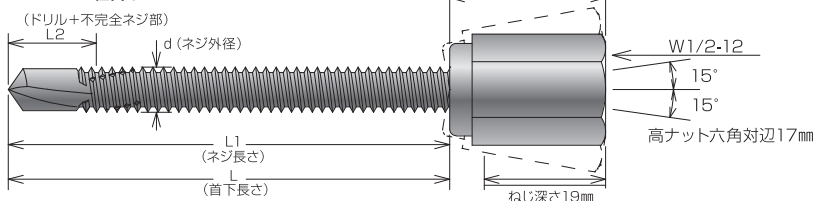


■寸法図(縮尺3/4)

NewSM8×78 細目ネジ

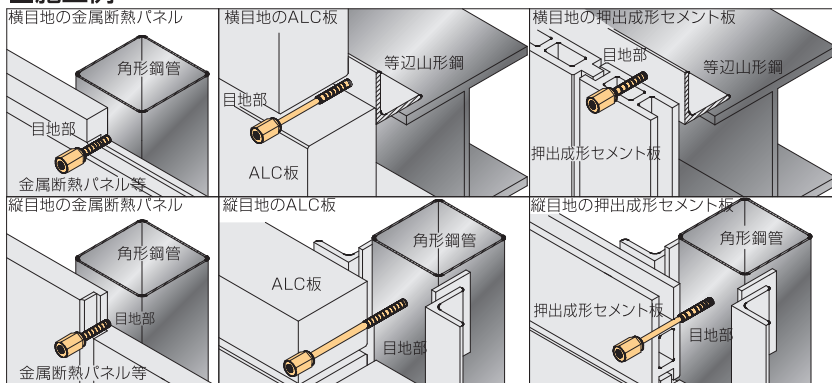


SM8×78 粗目ネジ



高ナットは、緊締されているが360度方向に15度傾いても自由に回転します。
Newタイプは、鉄下地1.6～3.2mmに対応開発した高強度を誇るドリルネジです。

■施工例



Newタイプは、外壁施工時に使用したネジを取り外しての改修工事に最適です。
△外壁材及び締結材の間にネジが立つ別の建材がある場合(雌ネジが形成) 締結材にはねじ込みが出来ません、先に外壁材等に(締結材は除く) 8.5mmの穿孔をして下さい。

品番	適応壁厚 (mm)	鉄下地厚 (mm)	d×L (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	ケース入数	商品コード JANコード
NewSM8×53 p1.25細目ネジ	30	1.6～3.2	8.0×53	40	16	400(50本×8)	000160 4560270431226
NewSM8×63 p1.25細目ネジ	40	1.6～3.2	8.0×63	50	16	400(50本×8)	000162 4560270431240
NewSM8×78 p1.25細目ネジ	55	1.6～3.2	8.0×78	65	16	240(30本×8)	000164 4560270431264
NewSM8×103 p1.25細目ネジ	80	1.6～3.2	8.0×103	90	16	240(30本×8)	000166 4560270431288
SM8×78 p1.8粗目ネジ	55	2.3～4.5	8.0×78	78	18	240(30本×8)	000170 4560270429131
SM8×128 p1.8粗目ネジ	105	2.3～6.5	8.0×128	100	18	240(30本×8)	000172 4560270429155
SM8×158 p1.8粗目ネジ	135	2.3～6.5	8.0×158	100	18	180(30本×6)	000174 4560270429179
SM8×178 p1.8粗目ネジ	155	2.3～6.5	8.0×178	100	18	180(30本×6)	000176 4560270429193
SM8×198 p1.8粗目ネジ	175	2.3～6.5	8.0×198	100	18	180(30本×6)	000178 4560270429216

(注) 適応壁厚=壁材厚mm+下地間の隙間mm

(注) NewSMは半ネジ、SMはL寸法128以上は半ネジ

■最大引張強度 N (kgf)

t=下地厚 (mm)

NewSM8×53、63、78、103		SM8×78		SM8×128、158、178、198	
一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 75×45×15 1.6t	5,000N(510kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 60×30×10 2.3t	5,864N(598kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 60×30×10 2.3t	5,864N(598kgf)
一般構造用角形鋼管 100×100 2.3t	8,300N(846kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	8,414N(858kgf)	一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	8,414N(858kgf)
一般構造用軽量形鋼リップ溝形鋼 100×50×20 3.2t	13,200N(1,346kgf)	熱間圧延形鋼等辺山形鋼 40×40 4.5t	14,386N(1,467kgf)	熱間圧延形鋼等辺山形鋼 40×40 4.5t	14,386N(1,467kgf)
				熱間圧延形鋼等辺山形鋼 50×50 6.0t	19,613N(2,000kgf)

高ナットカーリングガシメ部は最大引張強度19,613N(2,000kgf)

△安全率は2.0を目安して下さい。許容荷重の定めは致しかねます。施工状態の良し悪しで記載した最大引張強度は大きな差が生じますので十分配慮してください。

△(社)仮設工業会編の足場工事実務マニュアルに準じて、十分な安全率を考慮して施行を行ってください。

△推奨工具はコードレスクリュードライバー(14.4V以上の機種)で毎分1,300～1,700回転です。

△鉄下地が厚い場合、ネジ立てがスムーズに出来ない場合は、回転を下げてトルク調整して下さい。

△付属のビットを必ず使用して下さい。

△施工例の通り壁面と高ナットに僅かな隙間を設けて下さい。

△締結下地に直角にねじ込み、壁つなぎも曲げ方向の荷重が掛からない状態で接続して下さい。

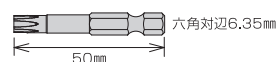
△壁つなぎ雄ネジに傷や付着物、錆び等そのまま接続しないで下さい。

△下穴を別工具で穴あけしての使用は最大引張強度の保証はできません。

△引張強度=圧縮強度と言えますが、施工状態で曲げ方向の荷重が掛かる場合は、壁当ジャッキを省くことは出来ません。

△製品は改良の為予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

付属ビット トルクス #30



取り扱い商社

イイファス株式会社

北海道北広島市大曲工業団地1丁目2番地6 <http://www.iifas.jp>
TEL(011)377-8481 FAX(011)377-8592 Email: sales@iifas.jp